

みらいのわたし

令和5年5月31日(水)

発行

大田区立志茂田中学校

生活指導便り No.2

志茂中生の集団としての力

2度の延期に加え、2時間遅れでスタートした異例尽くしの今年の運動会。様々な変更がある中で大きな混乱がなく、すべての種目を行うことができたのは、多くの人の協力があったからに他なりません。

そして、「多くの人」には、もちろん生徒の皆さんが含まれます。計画や予定とは異なる動きにも臨機応変に行動し、自ら進んで動く生徒が大勢いました。実行委員をはじめとする係生徒は責任をもって活動していました。自校の生徒を褒めちぎるのも…とは思いますが、志茂田中学校だからこそ、この状況下でも、盛大な運動会を実施できたのではないかなと思います。

さて、今年の運動会は至るところで「集団としての力」というキーワードが聞かれました。運動会での経験を今後にかすべく、全体運営を進めてきた体育科の渡部拓馬先生の寄稿を皆さんへのメッセージとして紹介します。

運動会お疲れ様でした。今年度は「集団での行動」に意識をおいて今年度の運動会を実施してきました。皆さんは仲間との関わりの中で、様々なことに気づくことができたのではないのでしょうか。仲間と行動を共にすること、集団での行動について身につけたこの経験を他の学校生活に生かし、さらに集団の質を高めていきましょう。

さて、私は「仲間との関わり」について、次のような考えをもっています。

- ・努力なき団結はない。現実逃避の向こう側に感動はない。
- ・真剣な議論こそが友情を育み、目標に向かう共通行動が、本当の仲間を作る。

ともすると、本来あるべき「仲間」とは言えないような関係性を築いてしまう姿を見ることがあります。

- ・表情を恐る恐るうかがい、言葉の端々に一喜一憂し、常に不安で、「共通の敵」を作って団結を装う。
- ・「共通の秘密」を作り出すことで「仲間」だと思いつまむ。
- ・「友達だ」と言いながら仲間はずれにしていく。

このような薄っぺらな人間関係を突き崩し、もっと上質な、もっと固い、もっと信頼できる仲間と集団を作りたい。そのような願いをもって取り組んだ運動会、そのための学校行事でした。

今回の運動会では、ある期間、同じ目標を目指して、一人ひとりが具体的な行動を起こしていく場面を多く見ることができました。一人ひとりの努力の上に、集団で練習する。まとまっていく。合わさっていく。動きが揃っていく。それを可能にした素晴らしい運動会だったと思います。

相手に勝ったんじゃない。自分自身に勝ったんだ。さあ、次のステージへ。(文責：体育的行事委員長 渡部 拓馬)

5月の情報モラル教育

5月も各学年で「情報モラル教育」を実施しました。ご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

1組 「トークアプリ依存」

1組では、「トークアプリ依存」について学習しました。今や携帯を使用してコミュニケーションをとることが普通になっていますが、果たして正しい使い方はできているのか、問いかけていきました。「目の前に落ちている紙切れが燃えていたらどうする？」と聞いた時、「消火する」「水をかける」といった声が多く上がりました。でもそれは燃えていることに気づけているからです。画面の向こう側にいる相手の表情や気持ちを知らず、自分のことばかり考えて思いを一方向的に伝えていませんか？大きな火事になる前に、一歩立ち止まって自分の言葉や行動を振り返っていきましょう。(文責：横山)

1学年 「スマートフォンでの課金」

気づかないうちに課金をしてしまったことはありませんか？今回の題材は中学生にとって身近な事例について学習しました。今はネット上で買い物が簡単にできます。今回の学習を通して課金をやめられない理由や気をつけなければならないことを考え改めて身近な課題であることを確認できました。お金に関することは自分だけで判断せず大人に相談しましょう。また、今一度家庭内で保護者の方とスマホの使い方の確認を行うようにしましょう。(文責：関)

2 学年 「トークアプリ依存」

今、生徒も大人もライン等のトークアプリを使うことが前提ようになってきています。あまりにも便利なため、ツールとして使用していたはずが、いつの間にか返事がないと不安になったり、既読がつかないと落ち着かないという状況も増えてきています。また、使用する時間がどんどん長くなり夜遅くまで連絡を取り合う、区切りの時間が分からなくなり夜更かししてしまう、ということも起きています。これらの経験のある生徒も多くいました。スマホの向こう側には、必ず相手がいまいます。相手の状況を知ることは難しいです。しかし、相手のことを考えて使うことはできます。スマホの使い方にも思いやりが必要なんだ、と気付いてくれたら幸いです(文責:横川)

3 学年 「グループトークでいじめ」

5月は「グループトークでいじめ～そんなつもりじゃなかったのに～」というテーマについて学習しました。LINEなどでグループトークを活用している生徒も多く、動画を見ている際も心当たりのある場面があったようです。文字(文章)にすると意図とは違って伝わってしまう、写真や画像を簡単にアップロードすると思わぬ事態になってしまうことなどを再確認しました。大切なことは直接あって伝えるということ、送信する前に一度確認することなど、大人でも考えなくてはと思うことが話題となりました。手軽で便利なツールですが使い方次第で人を傷つけてしまうこともしっかりと考えられるといいです。(文責:小川)

夏季服装特別規定(再掲)

先月にもお伝えいたしましたが、志茂田中学校では衣替えは廃止し、気候に合わせた服装(夏服/冬服)を選択できる決まりとしています。

また熱中症の予防、教室換気に伴うエアコンの温度設定などに関連して、夏季服装特別規定とし、ジャージや体育着を授業日に着用して良いとしました。規定の終了日については、9月末ごろを予定しておりますが、改めてお知らせします。ご不明な点をご遠慮なくお問い合わせください。



*** 体育の授業の有無に関わらず体育着・ジャージ登校を認めます。**

(体育の授業がある日はこれまでどおり体育着やジャージでの登校となります)

*** 白のワンポイントシャツを着替えとして持参してもよい。**

*** 着替えとしての標準服着用も可能だが、上がYシャツ、下がハーフパンツなどの混在した服装は不可。**

ちょっといい話

今年度は運動会期間に雨天が多くなかなか校庭での練習ができませんでした。外で練習ができた日もグラウンドがぬかるんでいることも多くありました。グラウンドがぬかるんでいると、靴に泥がつくため、昇降口が汚れます。靴の裏についた泥が、放課後に乾いて、下校時の昇降口が砂だらけになることも幾度もありました。そんな中、特に言われるでもなく、昇降口を掃除してくれる生徒が何人もいました。本当に素晴らしいこと、有難いことだと思います。

また風の強い日は第二昇降口に落ち葉が吹き込まれることが多くあります(『開けたら閉める』をお願いします)。こちら、進んで落ち葉を集めてくれている光景を目にします。

誰かのために進んで働ける姿勢は大変素晴らしいものだと思います。皆さんありがとうございます。



他校への出入りについて

大田区の中学校間では、「他の中学校への出入りは一律禁止」という申し合わせがあります。部活動の大会、生徒会活動などでは、顧問、担当の先生の引率責任のもと認められています。

また、部活動等の試合観戦や応援については、各競技や大会/会場によって、可/不可、服装、事前申請等々、大きく異なるようです。必ず顧問の先生に確認をとるようにしてください。なお過去には、支部大会や都大会などで、部員以外のルール違反によるペナルティーや処分があった例もありました。よろしくお願ひします。

